

事業名

木更津市中心市街地活性化協議会 ユース部会による学生カフェイベント

実施団体名

木更津市中心市街地活性化協議会

活動期間

2025/9/1 ~ 2026/2/28

成果・内容等

木更津市中心市街地活性化協議会ユース部会は、中心市街地のにぎわい創出の一環として、学生の居場所づくりを目的として、学生主体のカフェイベント「駅の森」を実施しました。本事業は、木更津市内の高校生が中心となり、木更津駅東口階段下にある「駅の図書室FLAT」を活用して、期間限定のカフェを運営するもので、企画立案からメニュー開発、広報、当日の接客までを学生が主体的に担いました。

実施にあたっては、学生と地域事業者が協働する形で準備を進め、メニューには、地元食材であるブルーベリーをエザワフルーツランド様からご提供いただき、中心市街地内にあるスイーツ店コキアージュ様と共同で「シェルマカロン」を開発し、来店者が地域の魅力を感じられる内容としました。また、SNSやポスター・チラシを活用した広報活動も学生が行い、若い世代への情報発信を強化しました。

事業の成果として、9月、10月、11月、1月、2月に各1回、計5回開催し、累計228人（うち学生75人）の来場者が訪れ、学生だけではなく、多くの方の居場所となりました。また、実施した学生にとっては実践的な地域活動への参加機会となり、企画力やコミュニケーション力、地域への関心を高める効果が見られました。さらに地域側にとっても若者の視点を取り入れた新しい店舗活用やイベントの可能性を確認する機会となりました。

学生カフェは、若者の主体的な関わりによってまちに新しい魅力と交流を生み出す取り組みとして、中心市街地活性化の一つのモデル事業となりました。